

2020年5月の天候（福島県）

令和2年6月2日
福島地方气象台

【月の特徴】

〇月平均気温はかなり高い。

1 天候経過

概況

高気圧に覆われて概ね晴れの日が多かったが、中旬の終わりから下旬のはじめにかけては低気圧の影響やオホーツク海高気圧からの湿った東よりの風の影響で雨や曇りの日が続いた。気温は、南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなり高くなったものの、中旬の終わりから下旬のはじめにかけてはオホーツク海高気圧からの冷たく湿った風の影響を受け、一時的にかなり低くなった。19日から20日にかけては低気圧が日本海と関東の南岸を東へ進んだため大雨となり、19日は日降水量が100mmを超えた所があった。23日と26日も気圧の谷の影響や南からの湿った空気が流れ込み大雨となった所があった。

月平均気温は高いからかなり高い。

月降水量は少ないから平年並。中通りと浜通りでは多い所もあった。

月間日照時間は平年並から多い。

上旬

高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、南からの暖かい空気が流れこんだことから、期間のはじめを中心に気温はかなり高くなった。

旬平均気温はかなり高い。

旬降水量は少ないからかなり少ない。

旬間日照時間は平年並から多い。

中旬

期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。期間の前半は暖かい空気に覆われたため、気温が高くなったが、19日から中通りと浜通りを中心に低温となった。また、19日には台風から変わった低気圧の影響で、県内各地で大雨となった。

旬平均気温は平年並から高く、かなり高い所もあった。

旬降水量は会津と中通りは少ないから平年並で、浜通りでは平年並から多くかなり多い所もあった。

旬間日照時間は概ね平年並。

下旬

中頃まではオホーツク海高気圧からの湿った空気や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。23日は中通りで局地的に大雨となった。

旬平均気温は平年並から高い。

旬降水量は少ないから多い。

旬間日照時間は平年並から多く、中通りでは少ない所もあった。

2 日々の気圧配置

- 1日：弱い気圧の谷が東北地方を通過する。一方、日本の南の高気圧が西日本付近へ張り出す。
- 2日：日本の南の高気圧が本州付近へ張り出す。
- 3日：日本の東の高気圧が本州付近へ張り出す。また、中国東北区付近の前線を伴う低気圧が東へ進む。
- 4日：宗谷海峡付近を東進する低気圧からのびる前線が東北地方を通過する。
- 5日：前線の通過後、日本付近は次第に移動性の高気圧に覆われる。
- 6日：北海道の東の高気圧が次第に東へ遠ざかり、気圧の谷が東北地方を通過する。
- 7日：本州付近は次第に移動性の高気圧に覆われる。
- 8日：引き続き、本州付近は移動性の高気圧に覆われる。
- 9日：本州付近を覆う高気圧が次第に東へ遠ざかり、黄海付近の前線を伴う低気圧が東へ進む。
- 10日：日本海を北東へ進む低気圧からのびる前線が東北地方を通過する。
- 11日：千島付近の低気圧が次第に北東へ遠ざかり、東シナ海の高気圧が西日本付近に張り出す。
- 12日：関東付近に低気圧があつて北東へ進む。また、本州付近は気圧の谷の中に入る。
- 13日：東シナ海の高気圧が次第に本州付近に張り出す。
- 14日：本州付近は移動性の高気圧に覆われる。
- 15日：本州付近の高気圧は東へ進む。
- 16日：日本の東に中心をもつ2つの高気圧が、それぞれ南東へ遠ざかる。一方、日本海と日本の南岸の前線上に低気圧があつてともに北東へ進む。
- 17日：関東の東の前線を伴う低気圧と北海道付近の低気圧がそれぞれ東へ遠ざかる。
- 18日：オホーツク海の高気圧が北海道付近に張り出す。一方、九州から四国にかけて前線が停滞し、台風第1号から変わった熱帯低気圧が南西諸島付近を北東へ進む。
- 19日：日本の南岸の前線を伴う低気圧と日本海の低気圧がともに東へ進む。また、引き続きオホーツク海の高気圧が北海道付近に張り出す。
- 20日：オホーツク海の高気圧が北日本に張り出す。一方、日本海と関東の東の低気圧が東へ進む。
- 21日：オホーツク海の高気圧が北日本に張り出す。一方、日本海の低気圧が北東へ進む。
- 22日：引き続き北海道の東に中心をもつ高気圧が北日本に張り出す。一方、日本海の低気圧がゆっくりと北へ進む。
- 23日：北海道の東に中心をもつ高気圧が次第に東へ遠ざかる。
- 24日：日本海の低気圧からのびる前線が東北地方に近づく。
- 25日：北海道付近の低気圧からのびる前線が東北地方を通過する。
- 26日：東北地方を覆っていた移動性の高気圧は東へ遠ざかる。その後、東日本付近は気圧の谷の中に入る。
- 27日：日本海の低気圧が北東へ進む。また、別の低気圧が三陸沖を北東へ進む。
- 28日：北海道の東の低気圧が遠ざかり、東シナ海の高気圧が次第に本州付近へ張り出す。
- 29日：日本付近は移動性の高気圧に覆われる。
- 30日：引き続き、日本付近は移動性の高気圧に覆われる。
- 31日：本州付近を覆う高気圧が次第に東へ遠ざかる。

3 気候統計値

(1) 気象官署及び特別地域気象観測所

要素		福島	若松	小名浜	白河	
平均気温 (℃)	上旬	本年	18.3	17.1	16.3	16.3
		平年	15.7	14.6	14.2	14.1
		平年差	+2.6	+2.5	+2.1	+2.2
		階級区分	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い
	中旬	本年	17.2	16.7	17.3	16.0
		平年	16.2	15.3	15.0	14.6
		平年差	+1.0	+1.4	+2.3	+1.4
		階級区分	平年並	高い	かなり高い	高い
	下旬	本年	18.5	18.2	18.0	16.7
		平年	17.9	17.1	16.1	16.2
		平年差	+0.6	+1.1	+1.9	+0.5
		階級区分	平年並	高い	かなり高い	平年並
	月	本年	18.0	17.3	17.2	16.4
		平年	16.6	15.7	15.2	15.0
		平年差	+1.4	+1.6	+2.0	+1.4
		階級区分	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い
降水量 (mm)	上旬	本年	2.5	5.5	17.0	8.0
		平年	23.2	24.1	39.0	33.2
		平年比 (%)	11	23	44	24
		階級区分	少ない	少ない	少ない	少ない
	中旬	本年	41.0	17.5	61.5	42.0
		平年	36.4	30.3	54.7	42.8
		平年比 (%)	113	58	112	98
		階級区分	多い	少ない	平年並	平年並
	下旬	本年	20.0	28.5	61.0	84.0
		平年	33.0	25.6	48.4	45.2
		平年比 (%)	61	111	126	186
		階級区分	平年並	平年並	多い	多い
	月	本年	63.5	51.5	139.5	134.0
		平年	92.6	80.0	142.0	121.2
		平年比 (%)	69	64	98	111
		階級区分	少ない	少ない	平年並	平年並
日照時間 (h)	上旬	本年	68.3	72.3	70.2	70.8
		平年	62.5	65.7	61.9	59.7
		平年比 (%)	109	110	113	119
		階級区分	平年並	多い	平年並	多い
	中旬	本年	52.7	49.5	52.1	47.7
		平年	54.3	55.4	56.0	52.1
		平年比 (%)	97	89	93	92
		階級区分	平年並	平年並	平年並	平年並
	下旬	本年	71.7	87.7	72.5	55.2
		平年	70.7	72.5	71.7	65.9
		平年比 (%)	101	121	101	84
		階級区分	平年並	多い	平年並	少ない
	月	本年	192.7	209.5	194.8	173.7
		平年	187.5	193.6	188.6	177.6
		平年比 (%)	103	108	103	98
		階級区分	平年並	多い	平年並	平年並

(2) 地域気象観測所

地 点	月平均気温 (°C)			月降水量 (mm)			月間日照時間 (h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
郡 山	17.0	15.6	+1.4	121.0	99.8	121	196.4	187.9	105
相 馬	16.7	14.9	+1.8	168.5	109.8	153	186.8	179.2	104
西会津	16.0	14.8	+1.2	44.5	95.9	46	171.7	170.2	101
小野新町	15.4	13.8	+1.6	85.5	98.6	87	154.9	161.0	96
喜多方	16.7	15.3	+1.4	36.0	93.0	39	211.0	191.6	110
浪 江	17.0	14.9	+2.1	129.5	124.0	104	195.4	184.9	106
田 島	14.6	13.3	+1.3	59.5	85.5	70	205.1	166.6	123
広 野	16.7	14.6	+2.1	149.5	153.5	97	197.0	180.7	109

※) : 準正常値。統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

※] : 資料不足値。統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上(以下)であることが確実である、といった性質を利用して統計に用いることができる場合があります。

※ × : 欠測。統計値を求める期間内の観測結果が全て求められなかった場合。

※ 平年の値は1981～2010年の資料から求めたものです。

2020年5月極値・順位の更新

(1) 気象官署及び特別地域気象観測所

順位	地点名	要素	観測値		これまでの極値		統計開始年	通年
			本年	起日	観測値	西暦年		
2	小名浜	月平均気温の高い方から	17.2		17.3	2015年	1910年	

(2) 地域気象観測所

順位	地点名	要素	観測値		これまでの極値		統計開始年	通年
			本年	起日	観測値	西暦年		
1	金山	月降水量の少ない方から	47.0		50.5	2009年	2008年	2
1	郡山	日最大1時間降水量	54.0	23	22	1984年	1976年	3
1	南郷	日最大1時間降水量	31.0	26	18	2005年	1976年	
1	桧枝岐	日最大1時間降水量	16.5	26	11.0	2019年	1979年	
1	東白川	日最大1時間降水量	31.0	26	27	1992年	1976年	

※気象官署及び特別地域気象観測所は3位まで、地域気象観測所は1位のみ掲載

※統計期間が10年以上のみ掲載

※通年における順位更新を3位まで掲載

注意事項

この資料内のデータは速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

本資料に掲載されている観測値は、断り書きがない限り福島は気象官署、若松、白河、小名浜は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しております。

なお、本資料の著作権は福島地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「福島地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

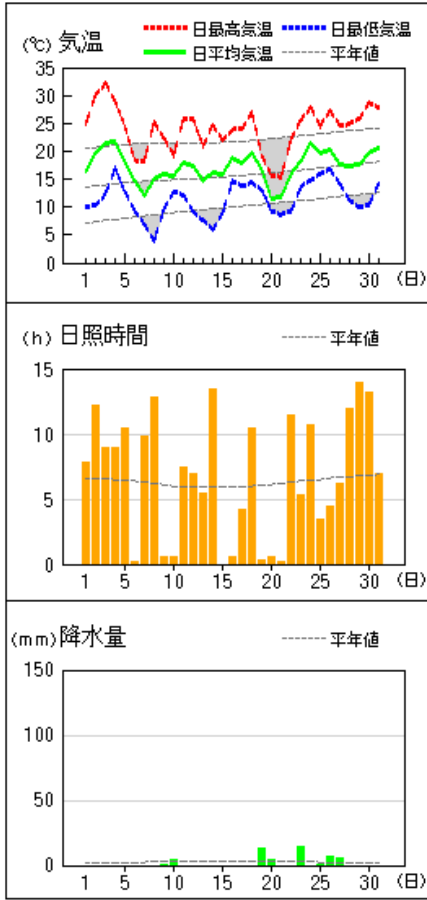
本資料に関するお問い合わせ先

福島地方気象台 調査官

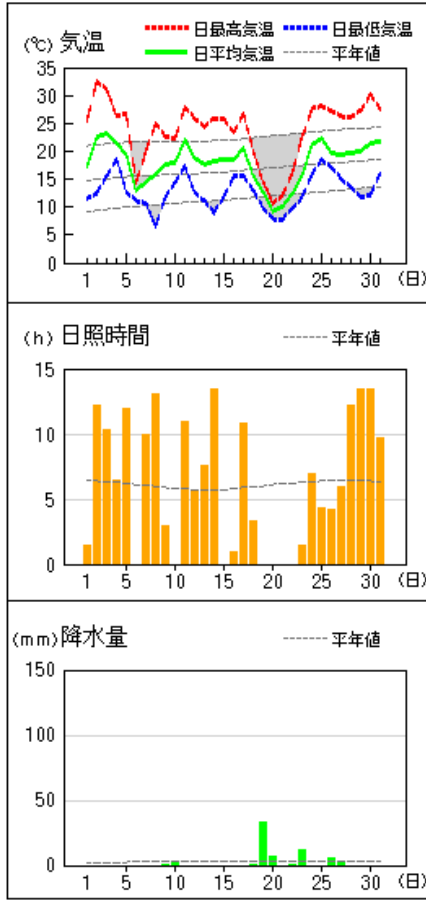
電話 024 (534) 0321

アメダス 気象経過図：2020年05月01日-2020年05月31日

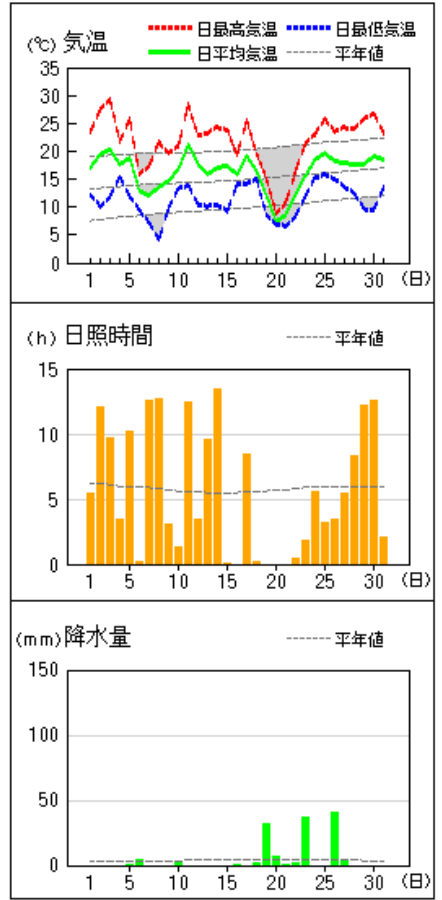
若松



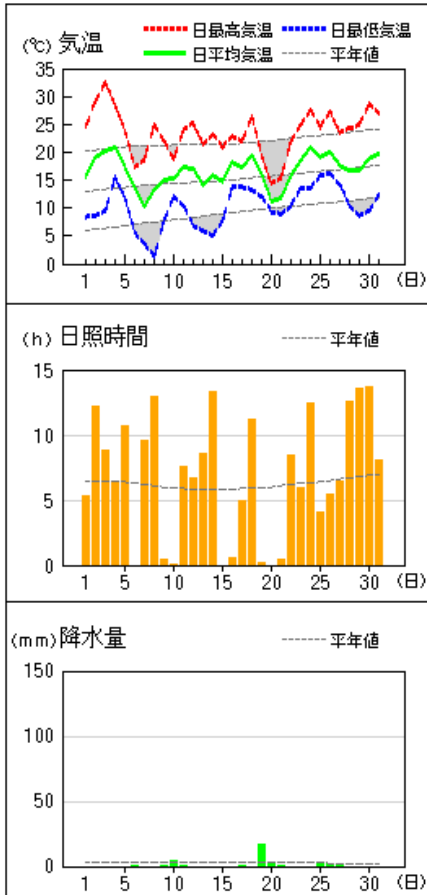
福島



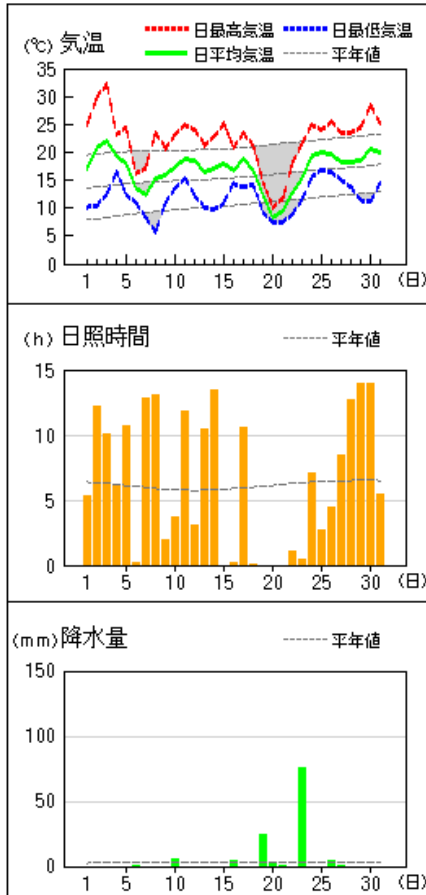
白河



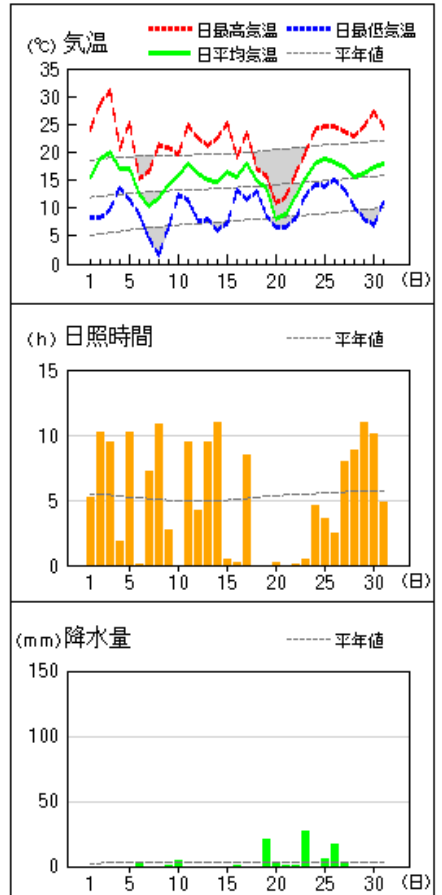
喜多方



郡山

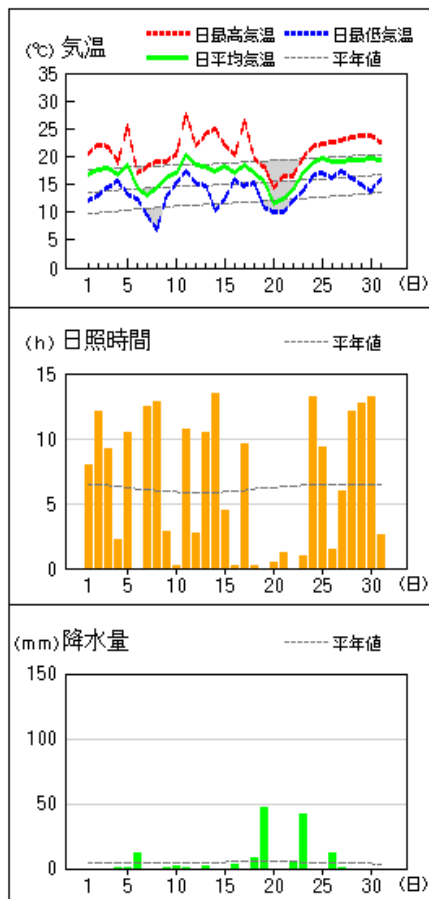


小野新町

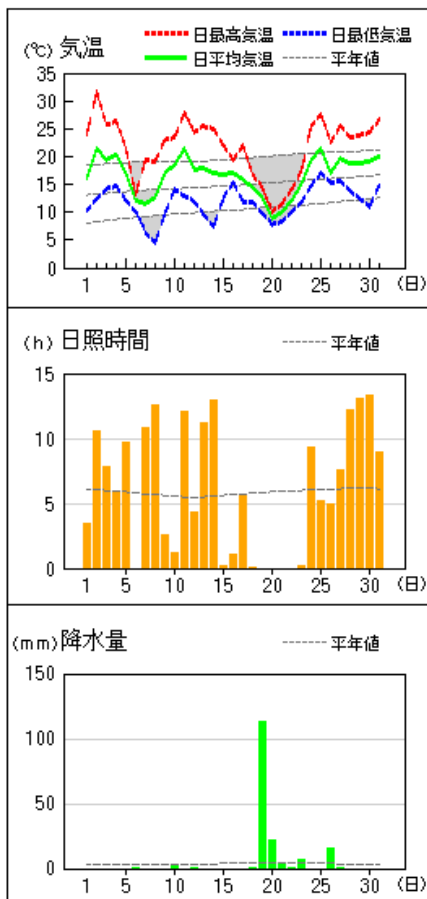


アメダス 気象経過図：2020年05月01日-2020年05月31日

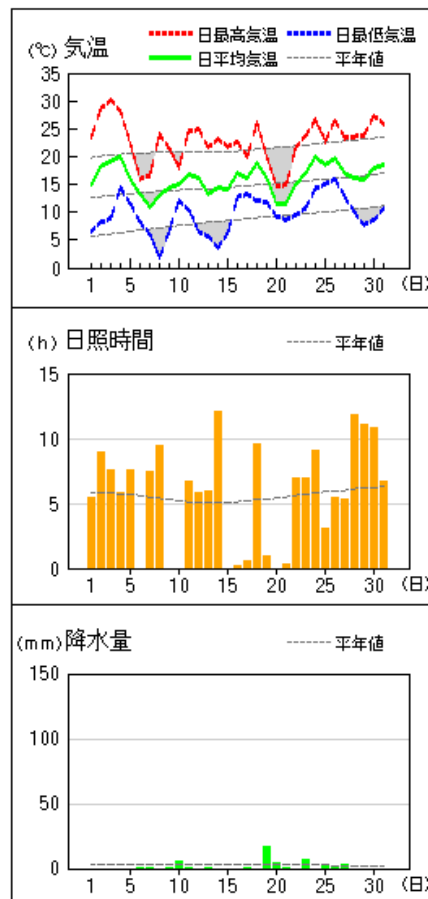
小名浜



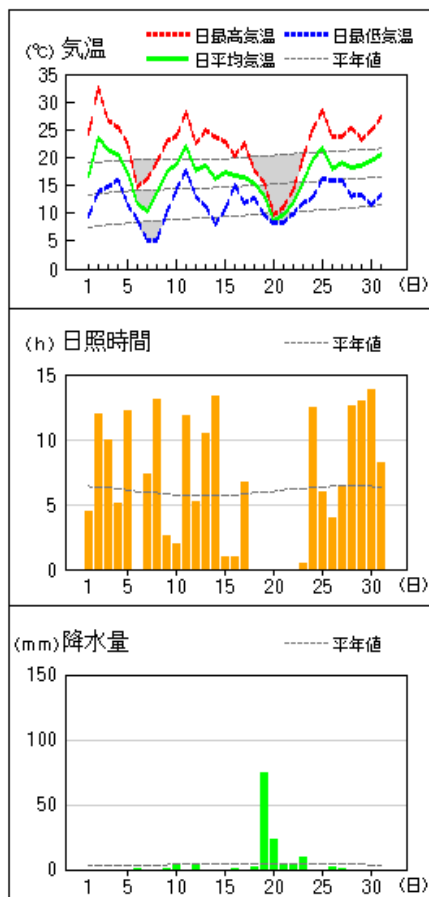
相馬



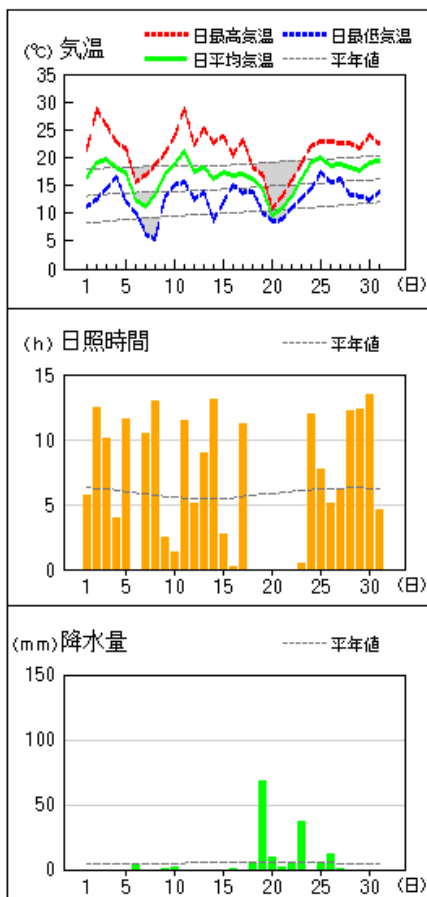
西会津



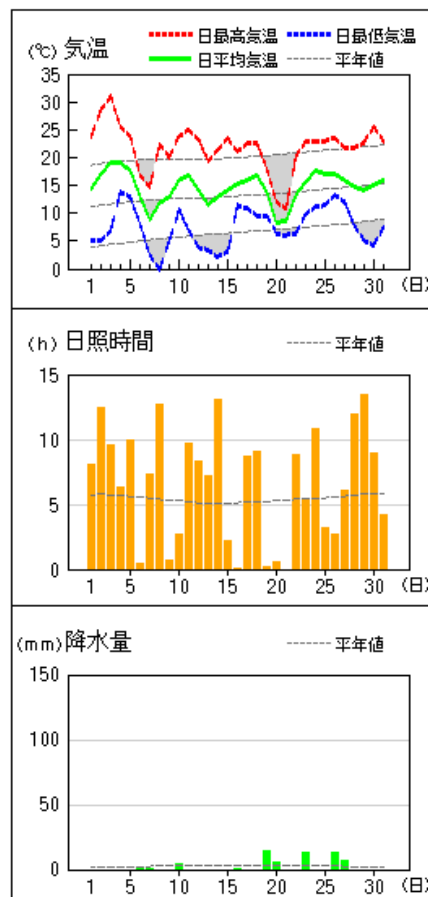
浪江



広野

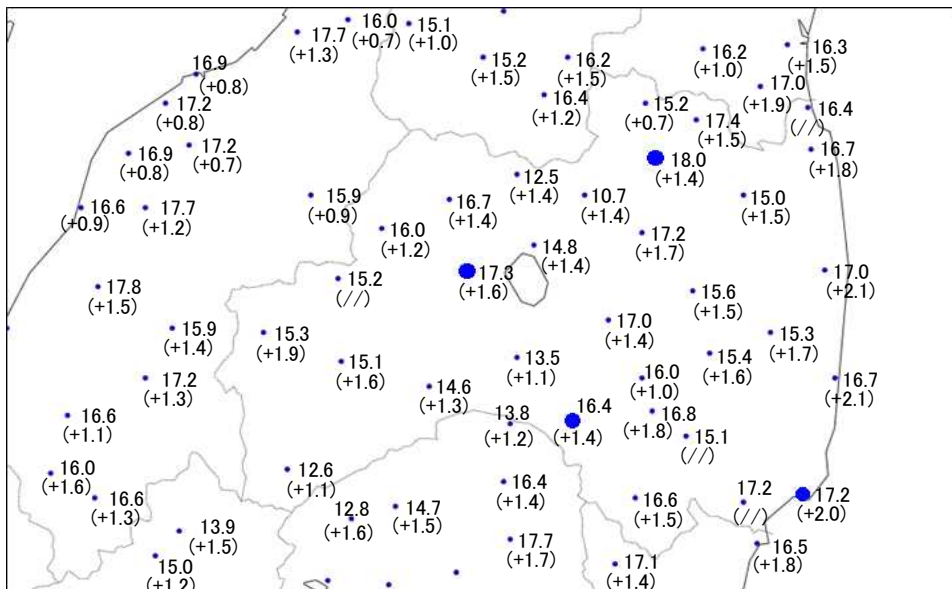


田島

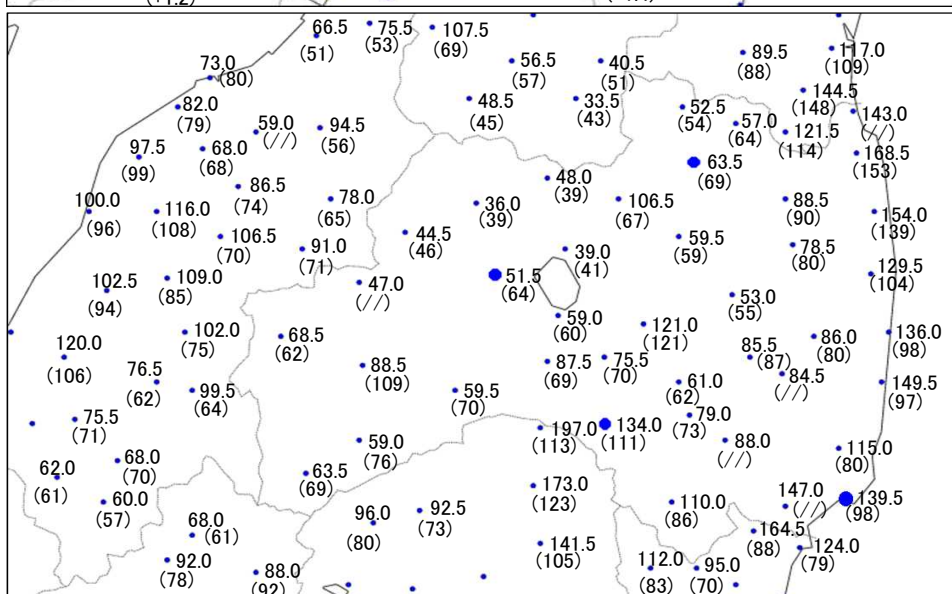


2020年5月の気象分布図

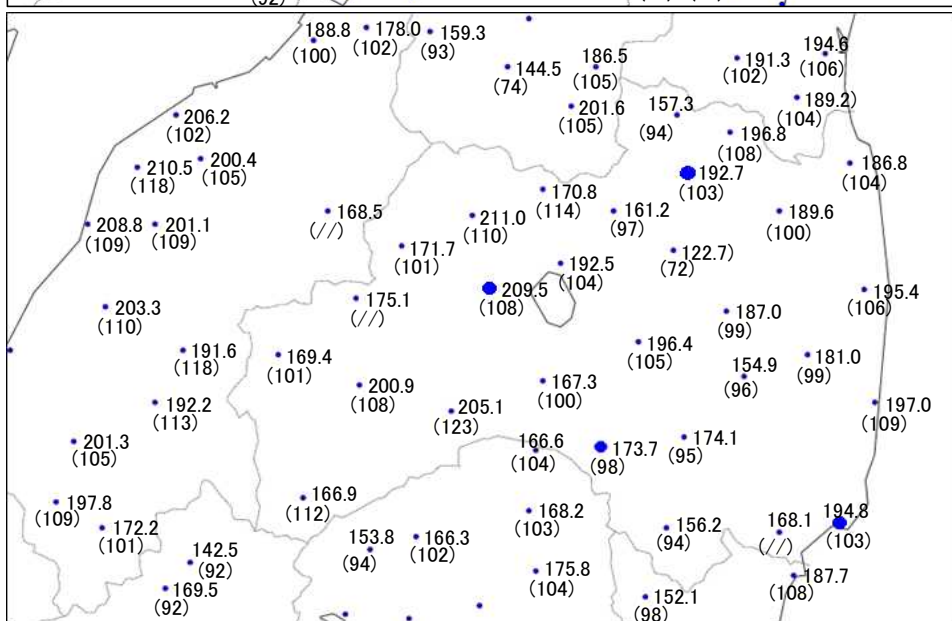
平均気温 (°C)



降水量 (mm)



日照時間 (h)



)は準正常値、]は資料不足値を示す。
 平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。
 //は平年値なし。平年値は1981-2010年の統計による。